

環境学習みえ

2013年9月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行
表紙の人／（左）宮本 篤さん（右）千種 啓義さん（赤目インタープリター研究会） 2013 No.54

秋



人と自然をつなぐ
インタープリター

人と自然をつなぐ インタープリター

「赤目四十八滝」で知られる、名張市赤目町。近鉄赤目口駅から滝へと向かう道のりには、美しい里地里山の風景が広がっています。

赤目の滝を訪れるなら、四季折々の豊かな自然が感じられる里地里山も歩いてみてほしい。ここでしか味わえない地域の魅力と人情に触れる散策コースを、わたしたちインタープリターがご案内します。



赤目の自然、文化（風習）、歴史を学びながら、改めて地域の人々とともに、ここの魅力を感じていきたい。

赤目四十八滝

約4 Kmの遊歩道を歩いて、大小さまざまな滝を望むことができます。不動滝、干手滝、布曳滝、荷担滝、琵琶滝は赤目五瀑として有名な滝です。



▲赤目四十八滝の入口にある「日本サンショウウオセンター」では、特別天然記念物のオオサンショウウオを見ることができます。

「赤目四十八滝」
名張市赤目町長坂861番地1

赤目インタープリター研究会のはじまり

平成21年、赤目四十八滝溪谷保勝会と名張市の観光協会から環境学習情報センターに「インタープリター養成講座」開催の依頼がありました。この養成講座は、今後エコツアーに取り組んでいこうという目的から、赤目溪谷地域周辺でインタープリターとして活動したい人を一般から募集し、開催されたものです。

4日間のインタープリター養成講座の修了生により、のちに発足したのが赤目インタープリター研究会です。「自然に関心があり活動してみたい」「地域のために何かしたい」というメンバーの想いもあり、活動が始まりました。

現在は赤目四十八滝でのエコツアーのお手伝いなども行うかたわら、研究会独自の「里地里山ツアー」を企画・実施するなど、

？ インタープリターとは

インタープリテーションを実施する人をインタープリターとよびます。参加者が体験したり考えたりして、自然などからのメッセージに自分から気づくように導くのが、インタープリターの役割です。

インタープリテーションとは

自然・文化・歴史（遺産）の価値などをわかりやすく人々に伝える活動です。一方的な説明ではなく、その本質にあるメッセージを伝える活動や、その技能のことをインタープリテーションといいます。

お話を伺った人

赤目インタープリター研究会



左:代表
ちぐさ ひろよし
千種 啓義さん

右:副代表
みやもと あつし
宮本 篤さん

赤目の滝を含めた赤目地域をフィールドとして、名張市内の人を中心に15名で活動しています。今後は活動の幅を広げていくため、一緒に活動する仲間を募集しています。

地域と訪れた人をつなぐ役割を果たすインタープリターとして活躍しています。

そこで赤目インタープリター研究会が開催した「春の赤目里地里山ツアー」のようす取材してきました。

里地里山ツアー

平成25年5月12日、赤目インタープリター研究会主催によるエコツアーが開催されました。市内から集まった約20名の参加者と一緒に、赤目の魅力を再発見するツアーに出発しました。

わたしたちがご案内します!



「自然・植物」、「歴史」、「動物」など、ジャンルごとに色分けした腕章をつけ、それぞれの得意分野を活かしたインタープリテーションを行います!

里地里山コース

近鉄 赤目駅前「旅のステーション」から赤目四十八滝入口までの約6キロのコース。所要時間:約5時間



豊かな自然、地域の暮らし、文化や歴史

Start!

1 旅のステーション出発!



▲快晴の朝。ツアーの参加者を見送るため、地域の人たちも「旅のステーション」前に集まりました。

2 田園プロムナード



▲ここからは美しい景色が見渡せ、散策には最適な場所です。田んぼでは、サギやケリなどの野鳥も見られました。

3 柏原城跡



▲柏原城は天正9年、伊賀国へ侵攻する織田軍と、それを防ぐ伊賀衆が戦った最後の城です。伊賀衆は戦いに敗れ、壊滅した歴史があります。

4 地域の人とのふれあい



▲お話の間もたくさんのツバメたちが飛び交っていました。



オオセンチコガネ



モチヅナ

城跡の入口には案内看板があります!



ツバメとの暮らし

旅のステーションを出発し、緑豊かな田園風景をぬけ、柏原城跡を訪ねました。歴史に詳しいインタープリターより「天正伊賀の乱」についてお話を聞いた後、小道を通り滝川を渡って集落に入ります。

そこで一行は、ツバメとの暮らしを見せてもらうために亀本さん宅を訪ねました。

玄関の中や、軒下などに17ほどの巣があります。ツバメが子育てする3月から9月までの半年間、毎朝5時に戸を開け、夜は親鳥が帰ってきているのを確認してから戸締りをします。また、へビから卵や雛を守るために家の壁にビニールを貼り、登れないようにするなど、ツバメとの暮らしが生活の一部になっています。

亀本さん「ひとつの家の中で暮らしているということは家族も同然です。そういう想いでなければ共生していけません。」



6 伝統文化をつなぐヒノキの森

▶ 樹木医でもあるイン
タープリターが、切り
株を指さしながら、内
部の構造や年輪の意味
を伝えています。



5 極楽寺



写真提供「春を呼ぶ会」
極楽寺境内で松明に
仕上げ、二月堂まで
担いで運びます。

▲ 松明調進の起源を極楽寺の前でイン
タープリターがお話しました。極楽寺は道
観長者によって創設されたといわれ
ています。

7 自然の中で楽しくゲーム!



マムシグサ



解やかな新緑の中で
ハイ！チーズ！

▲ 参加者だけでなく、イン
タープリターのみなさんも、とても楽し
そうすが印象的でした。今回でツアーの
開催は3回目ですが、な
かにはリピーターもいました。

しばらく山道を歩き、さわやかな風が吹く雑木林の丘でお弁当です。
休憩後はインタープリターの千種さんが用意した色紙と同じ色を、自然の中から探すゲームを行いました。赤オレンジ黄黄緑、深緑青茶、金色など、ありそうでなかなか見つかりません。ほかの人が見つけたものを見て、「こんなものもあったの!？」と驚きの声もあがりました。
このゲームは参加する人や、場所、季節によって見つかるものが全然違うそうです。最後に千種さんから、自然の持つ多様性や、光合成の大切さ、植物と他の生き物との関わりなどについてお話がありました。

自然の中で「色いろ探しゲーム」

集落をぬけ、「伊賀一ノ井松明調進」の行われていた極楽寺へ向かいます。松明調進は毎年、極楽寺の山からヒノキを一本切り出し、「お水取り」が行われる奈良東大寺の二月堂へ納める行事です。ここでは、松明調進の起源になった道観長者のお話を聞きました。
その後、松明調進に使われるヒノキが育つ山へ辿り着きます。今年選ばれた木の切り株を見ながら、樹木の構造や日光と木の成長の関係などを聞き、みんなで年輪を数えました。

約760年続く伝統文化 松明調進

たいまつ ちょうしん

このツアーを企画する宮本さんをはじめ赤目インタープリター研究会のみなさんは、コースの下見や山道整備を行い、勉強会も開いて、安全で楽しいツアーになるよう準備しています。
また、ツアーコースの中に地域で暮らす人のお話を組み入れることで、参加者と地域の距離を縮め、親しみが感じられるような工夫もしています。

楽しいツアーにするために

赤目インタープリター研究会 主催

秋の「赤目秘境探勝ツアー」参加者募集中!

近鉄赤目駅を出発、田園・里山の景色を楽しみながら、天狗観岩、竜神山、七ツ池を巡る約12キロのコースを予定しています。

開催日 11月17日(日) 9:00~16:00頃

募集人数 25名 (先着順)

〈ツアーのお問合せ・お申込み先〉
赤目インタープリター研究会 事務局
特定非営利活動法人 赤目四十八滝溪谷保勝会
(Tel) 0595-63-3004 (Web) <http://www.akame48taki.com>

里山観察

山頂七ツ池

地域の魅力を再発見

宮本さんたちが赤目散策ツアーを始めたのは、赤目インタープリター研究会を発足した翌年のことでした。「赤目を訪れる人に滝へ向かうまでの、自然あふれる里地里山も歩いてほしい」と、企画されました。

そのほかに研究会では、新たに地域の魅力になるものの発掘にも力を注いでいます。そのひとつに、岩の模様や形が人間の顔のように見える、おもしろい岩山があります。誰でもこの人面岩を見に行くことができるよう、研究会のメンバーがこの周辺を整備しました。



▲人面岩があるこの一帯は、世界遺産「アンコールワット」の雰囲気似ていることから、ゆかい遺産「アンコールチョット!」と呼んでいます。

「旅のステーション」完成

平成25年7月、近鉄赤目駅前に新しい観光案内の拠点として「旅のステーション」が誕生しました。

宮本さん「旅のステーションが完成したのは、人と人とのつながりからです。地域の人や名張市、企業の協力のおかげで、望んでいた形へと進み始めることができました。」

今後は旅のステーションを訪れた人に対して、インタープリターが自然・歴史・文化など、希望のコースへと案内することを目指しています。また、町で募集して配属された散策サポーターとともに、旅のステーションを中心とした、駅前から始まる「おもてなし」ができたらと思っています。こうして地域社会の活性化へとつながっていく期待もふくらみます。



▲30年ほど閉ざされていたバスの待合室を改装した「旅のステーション」。地域の人たちのネットワークと熱い想いで実現しました。

地域と訪れた人をつなぐ インタープリター

赤目インタープリター研究会では、活動を通してうまく周囲と協力しながら、地域ぐるみで赤目の魅力や価値を伝えていきます。

宮本さん「地域ならではの魅力が価値あるものとして、再び理解されつつあります。将来への遺産として、引き継いでいく活力や保全につながっていけば...と思います。」

どの地域にもその地域固有の自然や歴史文化があります。地域の人々に身の周りにある自然の価値に改めて気づいてもらった

り、その魅力を伝えたりすることもインタープリターの役割のひとつです。

環境学習情報センターでは毎年「インタープリター養成講座」を開催しています。インタープリテーションの基礎的な考え方や手法についてのプログラムです。あなたも自分の地域でインタープリターとして活動してみませんか。自然のことに関心のある方、お気軽にお申込みください。

写真提供 「赤目インタープリター研究会」

あなたも自然について伝えるインタープリターに!!

参加費
無料

環境学習指導者養成講座

インタープリター養成講座

日時 11月17日・24日・12月8日・15日
すべて日 9:45~16:30頃
※4日間で1講座です。修了された方には、「修了証」をお渡します

会場 三重県上野森林公園 (伊賀市下友生字松ヶ谷1)

講師 三重県環境学習情報センター 木村 京子

対象 ◇自然観察などの活動にインタープリテーションを取り入れたい方
◇環境学習に関わっている方や関心のある方
◇インタープリテーションに関心のある方

募集人数 15名程度 ※申込多数の場合は抽選。その際、三重県在住の方を優先

お申込み 三重県環境学習情報センターまで



みえ星空環境案内人講師の
水谷雅寛が
担当しました!

活動レポートVol.3

環境・体験講座のようすを
紹介するソウ!

松阪市嬉野図書館 「星たまごプラネタリウム・天文工作」



平成25年7月7日(日)

今回は出前講座として天文講座を行った、松阪市嬉野図書館での様子をレポートします。

この日は、ちようど七夕の日ということで星のお話をしました。図書館には七夕の本もたくさん置いてあります。

一足先に七夕の星空を見ていただくとう「星たまごプラネタリウム」に入りました。1回に20人ほどしか入れない小さい移動式プラネタリウムです。星空もコンパクトに見えますが、その分解説をする人と参加者が近いので、お話をしながら進めていきます。



織姫と彦星は、どうして年に1度しか会えなくなったのか、知ってる?



「七夕の日」にちなんで織姫と彦星のお話をしました。



短冊にどんな願い事を書こうかな~!?

天文工作「月の模型と七夕の短冊」。リアルな月の模様が描かれたペーパークラフトを作りました。



願い事を書いた短冊を持って、ハイ・チーズ!

子どもたちと、お手伝いしていた「みえ星空環境案内人」の方も一緒に記念撮影♪

センターでも、県内各地への出前でも、
どちらでも開催可能です!

社会見学の時に、あるいは学校の授業、市民団体の学習会、公民館の講座、企業の環境学習に「環境・体験講座」をご利用ください。

「星たまごプラネタリウム・星のはなし」

時間 30分~1時間30分

人数 1回20人まで ※それ以上の場合はご相談ください

対象 幼児・小学生以上・大人

【報告】 水谷雅寛

夏の大三角である、こと座のべガと、わし座のアルタイル。それが織姫星と彦星です。その間には、七夕のお話の通り、白くボーっとした光の帯、天の川もあります。でも、天の川はなかなか見られませんが、なかには、七夕の日しか見られないと思っていたという声もありました。が、街の光などで見えにくくなっているだけで、星がきれいに見られるところでは、この織姫と彦星の間にはきれいな天の川が見える、というお話もしました。

この日は、当センターの講座修了生でもある「みえ星空環境案内人」の方にも手伝っていたとき、星たまごプラネタリウムの中で七夕の星だけではなく、今夜の星空も一緒に見ていただきました。七夕の日は「星空を見る日」と思っている方も多いですが、その日だけではなく、いつでも晴れたら星空を見ていただきたいと思えます。星空を見ることが、空気がきれいなのか汚れているのか、そして周りの光がまぶしすぎる「光害」が増えてきていないか、を知るきっかけにもなります。今年の秋から冬にかけては、大きなほつき星も見られると言われています。ぜひ晴れたら星空を見上げてみてくださいね。

環境・体験講座

水質チェック、買い物ゲーム、大気調査講座、ごみ・リサイクル講座、ふるしき活用講座、紙すき体験、地球温暖化防止と省エネルギー講座、自然体験(自然観察、バードウォッチング、水生生物調査)、エコソング「うたおう&おどろう」など

◎講座の内容や対象については、環境学習情報センター Tel (059)329-2000までお問合せください。お申込みは原則、希望日の1か月前までをお願いします。



はみだしNEWS:メルマガ登録者をE-mailで募集中。氏名(ふりがな)、mailアドレスを明記し、info@eco-mie.comまで送信してください。

主催：三重県環境学習情報センター 後援：三重県教育委員会

秋のキッズエコフェア 開催します!

平成25年 **9月28日(土)・29日(日)**
10:00~15:00 入場無料

こどもたちから、おじいちゃんおばあちゃんまで、みんな環境学習情報センターへ集まれ!「環境ってなんだろう?」って考える日があってもいいよね!

家族でふれあい、話し合うきっかけをお届けします! みなさんのご来場をお待ちしています!!

7月20・21日 Mieこどもエコフェア たくさんのご来場ありがとうございました!

2日間で約4,000人にご来場いただきました! エコステージで行われた「みんな集まれ!エコソング」では、三重県知事にもこどもたちと一緒に楽しく踊っていただきました!



かんきょう絵手紙 ~届けよう!私のちょっとエコ~

大募集

自然・地球温暖化・環境汚染・ごみリサイクル・省エネルギーなどをテーマに、あなたの想いを絵手紙に託してみませんか? 日頃感じていること・心がけていることなどを「絵と言葉」にしてください。

みなさまからのたくさんのご応募をお待ちしています。

●募集締切

●対象

10月31日(木)

三重県在住の小学生以上

最優秀賞

小・中学生の部 1点

賞状と副賞(図書カード1万円)

高校生・一般の部 1点

賞状と副賞(図書カード1万円)

※そのほか優秀賞、入選、佳作もあります

※専用の応募票でのみ、受付します。
お申込み方法の詳細についてはお問合せください!

●作品の宛名面に専用の応募票(チラシ裏面掲載、またはホームページからダウンロード)を貼って、三重県環境学習情報センターまで郵送してください。

詳しくは http://www.eco-mie.com/kouza/25/kankyo_etegami/index.html



作品:絵手紙講師 岡 昭子氏

三重県のこどもエコクラブ活動紹介

チーム松下 (鈴鹿市)



- ・メンバー数 3名
- ・サポーター数 1名
- ・クラブの構成 家族サポーターの松下さんに聞きました

「チーム松下」は、家族で長年活動しているクラブです。

どのような活動をしていますか?



家族でまずは興味を持って、できることからやってみようと活動しています。主に、自然をフィールドに、海・山・川などに出向き、たくさんの方の感動体験をさせていただいています。

鳥羽の海でアマモの種植え。静岡の中田島砂丘でのアカウミガメの赤ちゃん放流。川歩きや、池の棚干し(外来種の駆除)への参加。植林のお手伝いなどです。

こうした活動を通して、自然がもたらす多様な豊かさや恩恵を私たちが肌で感じ、少しでも理解を深めることが大切だと考えています。



生まれたばかりの子ガメを放流したよ!



こどもエコクラブ

こどもエコクラブイメージキャラクター「エコまる」

幼児(3歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。メンバー1人とサポーターが1人いれば、いつでも登録できます! 環境について知りたい、なにか始めたい方、ぜひご利用ください!
<http://www.j-ecoclub.jp/>

- 入会費・登録費無料
- お問い合わせは 環境学習情報センターまで

みんなが意識をして環境を守らなければ、継いでいけないだろうとたくさん命があり、人間の身勝手な行動が自然の連鎖を破壊している現状を知りました。何より、子どもたちの「自然を守っていかなくては」という意識の芽生えに繋がっているように感じます。



活動していて良かったことはなんですか?



三重県環境学習情報センター 講座NEWS

詳細・お申込み方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

PICK UP 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます。

学校の先生の場合 地域NPOの場合 自治体の場合

2～3時間の研修にご利用ください。 メンバーのレベルアップにご利用ください。 市町での環境活動を増やすきっかけ作りにご利用ください。

主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話下さい。

環境学習指導者養成講座 みえ星空環境案内人養成講座

星のソムリエ®が取得できる講座は三重県内ではここだけ!

会場	環境学習情報センター・鈴鹿峠自然の家	締切	10月15日(火)
内容	星と人と環境の懸け橋になる指導者を養成する連続講座。「星空案内人(星のソムリエ®)」の認定も目指すことができます。		

11月2日(土) 13:00～19:00 環境学習情報センター

11月16日(土) 15:00～21:00 鈴鹿峠自然の家・天文台童夢

11月23日(土・祝) 15:00～21:00 鈴鹿峠自然の家・天文台童夢

※2日間とも同じ内容でおこないますので、どちらかにご参加ください

11月30日(土) 10:00～17:30 環境学習情報センター

12月14日(土) 15:00～20:30 環境学習情報センター

案内人認定式・スキルアップ講座 12月22日(日) 四日市市内(場所未定)

スキルアップ講座 生態学シリーズ「利己的な遺伝子」

④12月7日(土) ⑤2月8日(土) 開催

会場	三重県総合文化センター内	締切	④10月29日(火) ⑤1月9日(木)
内容	④母と子・女は弱い? されど母は強い ⑤雄と雌 ※①②③は終了しました		

環境講座 バードウォッチング～冬編～

申込先: 三重県上野森林公園 1月12日(日) 開催

会場	三重県上野森林公園	期申込	12月6日(金)～12月27日(金) ※先着順で受付
内容	上野森林公園、日本野鳥の会三重との共催です。冬の野鳥のようすを観察します。メジロ、カラ類、カモなどが観察できると思います。		

環境学習指導者養成講座 インタープリター養成講座

11月17日(日)・11月24日(日)・12月8日(日)・12月15日(日) 開催

会場	三重県上野森林公園	締切	10月17日(木)
内容	単なる解説ではなく、いろいろな感覚や体験などを通じて自然のしくみや価値などを伝える人「インタープリター」になっていただくための講座です。		

環境工房 アオツルを使った籠づくり

12月7日(土) 開催

会場	松阪市森林公園 木工教室	締切	11月11日(月)
内容	アオツルの特性を活かした籠をつくります。松阪市森林公園と共催です。		

環境学習指導者養成講座 持続可能な社会をめざす

人づくり講座《ESD入門》 12月1日(日) 開催

会場	サン・ワーク津 研修室	締切	11月5日(火)
内容	地球の未来のために、持続可能な社会を実現するにはどうすればよいのか、ESD(持続可能な開発のための教育)について学びます。		

環境工房 おしゃれしめ縄づくり

12月23日(月・祝) 開催

会場	三重県環境学習情報センター	締切	11月25日(月)
内容	生きることの基本的な「食」とそれを支える「農業」。その食育活動を通して感じているお話と、その後オリジナルしめ縄を作ります。		

環境学習指導者養成講座 環境学習リーダー養成講座

～アクティビティ体験コース～ 1月11日(土) 開催

会場	サン・ワーク津 研修室	締切	12月10日(火)
内容	ESD(持続可能な開発のための教育)の参加型プログラム(アクティビティ)を体験し、ファシリテーター養成コースにつなげます。		

こども環境講座 エコ・サイエンス教室

～炭で消臭剤をつくろう!～ 11月2日(土) 開催

会場	三重県環境学習情報センター	締切	10月8日(火)
内容	炭の効果を利用して、「消臭剤」をつくります。自然エネルギーの実験もあります。		

環境学習指導者養成講座 環境学習リーダー養成講座

～ファシリテーター養成コース～

2月1日(土)、2月15日(土)、2月22日(土) 開催

会場	サン・ワーク津 研修室	締切	1月14日(火)
内容	地域や学校、職場で参加体験型の学びをコーディネートし、ESDの考え方を広める担い手を養成します。		

こども環境講座 自然工作 どんぐりカレンダー

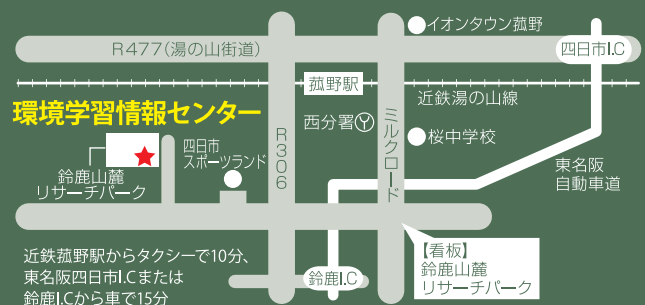
11月17日(日) 開催

会場	三重県環境学習情報センター	締切	10月20日(日)
内容	秋になると自然にはいろいろな変化や落し物があります。今回はどんぐりを使って、どんぐりカレンダーを作ります。また、どんぐりやほかの種などについてもお話しします。		

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越し下さい



Facebook @eco_zou